

再発防止対策の実施状況（10月～12月実績と1月～3月予定）

平成18年1月24日現在

実施項目	現 状	実施状況	再発防止対策の取組み実績									今後の予定			
			～平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(2) 労働安全活動の充実															
5	<p>運転中プラント立入制限と定検前準備作業のあり方の検討</p> <p>運転中プラントへの立入り制限 定期検査前準備作業の取り止め 事故後直ちに運転中プラントの立入り制限および定検前準備作業の取り止めを実施し、継続中。 (*、* が評価・改善)</p> <p>定期検査前準備作業の実態調査 大飯4号機、高浜2号機の定期検査で準備作業について調査済み。引き続き、定期検査を開始したプラントでの現地調査（労働安全設備の配置等）を実施中。</p> <p>定期検査前準備作業のあり方検討 定検前準備作業のあり方については、各定検での実態調査を踏まえ問題点を把握し、ハード面（恒設作業足場の設置等）、ソフト面（労働安全衛生マネジメントシステムによる評価等）からの具体的な対策の検討を進めている。</p>	S*	立入制限の実施												
		A	定検実態調査 大飯4 高浜2	労働安全設備配置現地調査 調査計画策定	労働安全設備配置現地調査 大飯2・高浜3 美浜1	労働安全設備配置現地調査 美浜3 高浜1	労働安全設備配置現地調査 大飯1 高浜4	労働安全設備配置現地調査 大飯4 美浜2	活用を考慮 ソフト面の対策（仕組みの構築等）					ハード面の対策	
		A	ソフト面からの検討（労働安全衛生マネジメントシステムの活用等）		ハード面からの検討（恒設足場の設置等）		問題点の抽出			対策の検討					
6	<p>労働安全衛生マネジメントシステムの美浜発電所導入 美浜発電所における試運用 美浜発電所における本格導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電所長が自ら率先し安全管理活動を推進すべく、労働安全衛生マネジメントシステム導入を決定した。 美浜2号機定期検査（H17.1～2）の2次系作業に対して試運用した。 また、美浜1号機定期検査（H17.4～8）の1、2次系作業に対して試運用した。 美浜1号機試運用評価結果を踏まえ、本格導入のための社内標準など必要なツール改善を実施中。今年度中に美浜発電所に本格導入する予定。 <p>高浜、大飯発電所への展開</p> <ul style="list-style-type: none"> 高浜1号機第23回定検（8/14～）の2次系作業に対して試運用済。高浜4号機第16回定検（11/16～）において試運用中。 大飯1号機第20回定検（9/20～）の2次系作業に対して試運用済。大飯4号機第10回定検（12/27～）において試運用中。 	S	導入決定 H16/11/30	美浜2号機 2次系で試運用	美浜2号機 試運用結果の評価	美浜1号機1次系・2次系・起動時試運用	美浜1号機試運用結果の評価	本格導入のための社内標準などツール改善	内部監査 レビュー会議	H17年度中に美浜発電所本格導入					
		A	水平展開検討	高浜、大飯発電所への展開準備 （体制確立・要員教育等）	高浜、大飯発電所システム構築	高浜1号機2次系試運用	高浜1号機試運用結果の評価	高浜4号機1次系・2次系・起動時試運用	高浜4号機試運用結果の評価	大飯1号機2次系試運用	大飯4号機1次系・2次系・起動時試運用	大飯4号機試運用結果の評価	大飯4号機試運用結果の評価	大飯4号機試運用結果の評価	
7	<p>救急法救急員等の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職場（課・室（当直））毎に救急法救急員または普通救命講習受講者を原則2名養成することとし、9月28日より計画的な養成を開始した。 今年度中に各職場2名の養成を完了する予定。 <p>休日・夜間の連絡体制の整備 関係者にて連絡の役割分担等を調整し、社内標準を改訂した。（美浜 7/21、大飯 7/29、高浜 8/25）</p> <p>発電所員を対象とした救急対応の教育 社内標準に基づく救急対応教育を実施中。 ・美浜 7月27日より教育開始。 ・大飯 7月29日より教育開始。 ・高浜 9月9日より教育開始。 現在各発電所にて救急対応教育を実施中であり、12月末で教育実施の確認を実施。</p>	A	養成計画策定（具体的な養成日程について講習先と調整）												
		A	救急対応社内標準整備 H16/9/24	休日・夜間の連絡体制の整備			社内標準改訂 美浜7/21	社内標準改訂 大飯7/29	社内標準改訂 高浜8/25	講習（美浜） 講習（美浜）	講習（大飯） 講習（高浜）	講習（美浜）	講習（高浜） 講習（大飯）	講習（高浜） 講習（高浜） 講習（大飯）	講習（高浜） 講習（高浜） 講習（大飯）
		A	社内標準に基づく職場毎の救急対応教育の計画策定			教育の実施			平成17年度内に、各発電所で全所員に対して教育を実施する			教育実施状況確認	教育実施状況確認		

再発防止対策の実施状況 (10月~12月実績と1月~3月予定)

平成18年1月24日現在

実施項目	現状	実施状況	再発防止対策の取組み実績									今後の予定						
			~平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
13 積極的な投資に係る予算制度の改善等の仕組みの構築	<p>現場第一線が安全最優先に業務を展開できる仕組みの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状の予算制度等に対して、第一線職場が安全最優先に業務展開できるようにする上での問題を分析・評価し、予算制度等の仕組みを改善するため、第一線職場を含めたWGを5月に設置した。 現状の問題点を抽出の上、具体的な解決策を講じた予算制度改善方針を決議し、それに基づき次年度の予算編成業務を実施中。 	A		予算制度のしくみ検討WG設置に向けた事前検討		WG設置 5/9	WGでの検討 5/17	6/27		8/16		火力ベンチマーキング 9/27予算制度改善方針決議		11/25~29 発電所予算編成結果報告	1/5 事業本部予算編成結果報告 (経理へ通知)			
	<p>継続的な計画の更新、フォロー</p> <p>懇談会等により意見を聴取し、継続的改善を実施する。</p>	-																
(3) 安全の確保を基本とした工程の策定																		
14 「安全最優先」の考え方にもとづく工程策定、変更の仕組みの整備	<p>定期検査工程短縮を目標にするものではないことおよび安全最優先の考え方の徹底</p> <p>メーカ、協力会社に協力会社連絡会において宣言、説明した。</p> <p>安全最優先の考え方による定期検査工程の柔軟化</p> <p>事故発生以降、労働安全等を考慮して工程策定(現在は定検前準備作業は取止め)し、工程ありきで作業を進めることがないよう柔軟に対応中である。</p>	S		安全最優先の考え方徹底														
	<p>定検工程策定、変更時のためのプロセスの明確化と標準化</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全最優先の考え方に基づいた定期検査工程策定、工程変更の仕組みを検討することについて、WGを設置(H17.4)し、メーカ、協力会社に説明を実施した。 現状問題点整理の上、対策案について基本方針決議済み。 新たな定検工程策定のプロセスについて社内標準を改正した。現在、運用中。 <p>柔軟な工程管理の実施</p> <p>各定検工程策定時の協力会社とのコミュニケーションや各定検後反省会等を通じて意見を聴取中であり、今後継続的フォロー、改善を行なう。</p>			各ユニットの定検申請に合わせ協力会社とのコミュニケーション・定検後反省会によりフォロー	高浜3号定検要望フォロー 7/26,27	大飯1号について工程を延長 8/17	美浜1号の並列日を給水ポンプケーシング漏れにより並列日を延長 8/22	高浜4号 熱交換器取替工事における上下作業などを考慮し9日の延長 10/14	大飯4号 年末年始工事方法を詳細などを考慮し29日の延長 11/9	高浜2号、大飯2号、敦賀2号との4台ラップを考慮し着手を3/3、日数を86日に延長 美浜2号 12/19		高浜2号、大飯2号						
(4) 教育の充実																		
15 2次系配管肉厚管理の重要性に関する教育	<p>必修業務研修(配管肉厚管理コース)</p> <ul style="list-style-type: none"> 事故後直ちに2次系配管肉厚管理の重要性について、必修課員に臨時教育を実施した。 継続的に教育を実施するため、教育内容の改善を図った上で教育体系に組み込み、12/21,22に実施済み。 	S	9~10月 臨時教育	配管肉厚管理業務に関する教育の教材改善									教育実施 12/21,22					
	<p>危機意識を高めるための教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機意識を高める教育については、第1回目を国内外の重要なトラブル事例についてeラーニングで実施した。(対象:発電所技術系社員) 当社で経験した身近な事例について、職能別に2回目を実施中(1/23~)。 	S		危機意識を高める教育の実施内容検討			1回目(eラーニング)						2回目(eラーニング)教材準備	1/23	2回目(eラーニング)			
16 管理層へのマネジメント等の教育	<p>マネジメント研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 役員~発電所次長クラスの教育については、6月5日に品質管理・品質保証をテーマとした研修を、2回目は9月21日にJ E A C 4 1 1 1、安全文化の醸成に向けたマネジメントを、3回目は、組織問題の解決と品質管理というテーマで実施済み。 4回目以降の内容については検討中。 	A		マネジメント教育の実施内容検討		1回目6/5 品質管理・品質保証				2回目 9/21 JEAC4111 安全文化				3回目 1/18 組織問題の解決と品質管理		4回目以降検討中		
	<p>第一線職場課長研修</p> <ul style="list-style-type: none"> 第一線職場の課長クラスの教育については、第1回を5月19日に実施し、10月までの11回の研修を完了した。 新任者等を対象した研修を2/1~より実施予定。 	A		第一線職場課長研修実施	5/19~ 6/2~ 6/9~		7/14~ 7/28~	8/4~ 8/25~	9/8~ 9/21~	9/29~ 10/4~				2/1~ 2/2~ 2/23~ (新任者等を対象)				
17 法令、品質保証、保全指針などの教育の充実	<p>必修業務研修(技術基準コース)</p> <p>対象技術基準の選定、講師選定、教材整備が完了し、12/21,22に実施済み。</p> <p>法令に関する研修</p> <p>品質保証規定の解釈・適用に関する研修を大飯発電所にて課長クラスを対象に8月25日に実施し、美浜発電所は9月26日、高浜発電所は10月11日実施済み。</p> <p>法令・保全指針類の改正時の伝達教育</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育対象とする法令、指針などを選定中。 職種別に法令等毎の教育内容を検討中。 <p>品質保証の原則の浸透教育</p> <p>品質マネジメントの原則、JEAC4111の特徴、ISO9001との相違点に関する教育を実施するための教材を整備中。</p>	A		教育対象項目の選定			教育内容の設定・準備			法令に関する研修実施 8/25大飯 9/26美浜 10/11高浜			技術基準研修 12/21,22実施済み		法令・保全指針類の改正時の伝達教育 H17下期に実施予定			
														教材整備		教育実施		

再発防止対策の実施状況 (10月～12月実績と1月～3月予定)

平成18年1月24日現在

実施項目	現 状	実施状況	再発防止対策の取組み実績									今後の予定				
			～平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
安全のために保守管理を継続的に改善し、メーカ、協力会社との協業体制を構築します。 (1) 2次系配管肉厚管理システムの充実																
点検リストの整備等の実施	点検リストの整備 a. 主要点検部位の点検リスト 事故後直ちに肉厚管理未実施部位について調査し、主要点検部位の点検リストを整備した。調査結果については、原子力安全・保安院に報告済。(H16.8.18) b. NISA文書に基づく主要点検部位リストの追加整備 原子力安全・保安院(NISA)発出の文書(H17.2.18)に基づき主要点検部位に追加した箇所について、「中期的な検査計画」に基づき各発電所において策定作業を完了(8/17)し、原子力事業本部においても内容確認実施済み(11/28)。 c. その他部位の点検リスト ・PWR管理指針のその他部位については、NISA文書の要求事項である「中期的な検査計画」に基づき点検リストを各発電所において策定作業を完了済み。(H17.8.17) 原子力事業本部においても確認実施済み(11/28)。なお、その他部位で未点検箇所は今後2～3回の定検で現場とスケルトン図の照合を行い、必要に応じ点検リストを整備予定。 ・美浜3号機についてはその他部位を含めて点検リストを整備済み。(H17.5)	S	主要点検部位の点検リスト整備 原子力安全・保安院の指示文書を踏まえた主要点検部位の点検リストの追加整備を実施(平成17年8月まで) 8/17 策定完了報告 原子力事業本部による点検リストの確認													
	定期的レビューのルール化 点検リストを3年毎に定期的レビューすることを、社内標準でルール化した。	S	定期的レビューのルール化 H16/9/17 定期的レビューの実施計画検討～策定													
	設備変更に伴う管理票等への反映の仕組み構築 設備変更を確実に管理票等に反映する仕組みを構築し、具体的な変更管理方法を社内標準に定めた。	S	変更管理の充実 H16/9/17													
	肉厚管理体制の強化 事故後直ちに、当社が現場での測定作業を除く計画から評価まで主体的に実施することとし、2次系配管管理の専任要員を強化した。 3発電所 4 17名(主体的管理) 31名(直営化) (平成17年10月まで順次増強を行った。)	S	専任要員の配置 (H16.9～H17.4に順次増強) 増員+3 7/25 増員+14 10/1													
当社による主体的管理の実施	点検漏れ等の不具合情報の共有化 点検漏れの水平展開の仕組みなどを社内標準に明記した。	S	点検漏れ情報の共有化 H16/9/24													
	当社が測定作業を除き計画～評価まで主体的に実施 <主体的管理の内容> ・当社が中期的点検計画に基づき作成した定検の点検計画により、協力会社に点検依頼。 ・点検結果の評価は、当社で評価・確認を行う。 ・なお、大飯1号機第20回定検より順次、肉厚管理業務の直営化を開始している。 ・NIPSの当社への移管については、9月16日に実施済みであり、移管後の業務分担、運用ルール等についても社内標準に反映済み。	S	当社の主体的管理および肉厚測定作業等への当社社員の立会い強化 NIPS買取 9/16 業務直営化 9/20 社内標準改正 8/16 大飯1号#20回定検 大飯4号#10回定検 高浜4号#16回定検 美浜2号#23回定検													
	コンピュータシステムの改良 ・スケルトン図と点検管理票とのリンク、スケルトン図・点検管理票の変更経緯の記録(トレーサビリティ向上)などコンピュータシステム(NIPS)の改善は実施済み。	S	改良コンピュータシステムの適用 3/下旬 コンピュータシステムの更なる改良検討(必要の都度)													
減肉管理規格策定作業への積極的な参画、当社の管理指針への反映	学会での規格策定およびPWR管理指針への反映 a. 機能性規格策定検討への参画および社内標準の適切性確認 日本機械学会において配管減肉対応特別タスクを設置(H16.9)し、配管減肉管理の基本的要求事項を取りまとめた機能性規格を制定した。7月末に発行後、社内標準の適切性の確認を実施。(11/21方針決裁)	A	機械学会 機能性規格策定作業に参画 3/16 機械学会 機能性規格(基本要求事項)制定 機械学会 機能性規格(基本要求事項)発行 社内標準の適切性確認 11/21 方針決裁													
	b. 技術規格策定検討策定およびPWR管理指針への反映 配管肉厚の測定方法、評価方法等を規定する技術規格案については策定作業中。 当社はこれらの取り組みに積極的に参画して活動中。		機械学会 PWR技術規格(具体的要求事項)策定作業に参画 規格原案作成 規格案作成 書面投票													

スケジュールについては、国や学会の活動状況により変化する。

再発防止対策の実施状況（10月～12月実績と1月～3月予定）

実施項目	現 状	実施状況	再発防止対策の取組み実績									今後の予定			
			～平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(2) 計画、実施、評価等の保守管理を継続的に改善															
19	保守管理方針の明確化、基本的な考え方の徹底	<p>保守管理方針を安全最優先の観点から明確化 基本的な考え方を社内標準に明記し徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> 保守管理を継続的に改善すること、設備を所有する当社が一義的に責任を有することとする保守管理方針および基本的な考え方について社内標準に定めた。 社内伝達教育、安全衛生協議会、文書等による浸透活動を9月までに実施済。 今後、浸透状況についてフォロー予定。 	A			保守管理方針の 5/16 社内標準への明確化 浸透活動（周知文書、社内伝達教育、協力会社へは安全衛生協議会等にて浸透）								浸透状況の確認	
20	役割分担、調達管理の基本計画を策定、実施、社内標準へ反映	<p>代表工事の基本計画を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 保全業務について、当社・メーカ・協力会社の役割分担と責任および調達管理の方法について、工事のプラント安全上の重要度、必要とされる技術力や法的な位置付けなどに応じて定めた基本計画を策定するためWG（現場第一線も含む）を設置した。 代表工事（9件）について、業務フロー、役割分担・調達管理の基本計画を検討し、その結果を社内標準に反映した。 <p>基本計画の展開と分析評価</p> <p>全工事を類型化した基本計画の策定に向け、代表工事を基にした役割分担・調達管理の基本計画に従い、工事内容の分析評価を実施中。</p> <p>具体的な展開実施およびフォロー</p>	A A -	役割分担、調達管理の基本計画策定を行う検討WG設置に向けた検討 WG設置 5/10 WGでの検討（代表工事の基本計画検討） 5/10		7/4	8/12	9/7		代表工事の基本計画・社内標準改訂 9/27		役割分担・調達管理の基本計画に従い工事内容分析評価 11/4		4月以降 役割分担・調達管理 の基本計画の全工事 への展開、フォロー	
(3) 監査の充実															
21	業務のプロセス監査の継続実施および改善	<p>業務のプロセス監査の継続実施および改善</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別業務についての実施手順の要求事項や実施手順の有効性・効率性など、業務のプロセスに着目した監査を、定期検査工事を対象に5月から開始。本年度は計16件の定期検査工事が対象。 第1～3四半期対象分は監査実施済（13件）。 （現地調査実績：発電所・期間） ・高浜 5/9～5/13、8/1～8/5、11/7～11、 ・美浜 5/16～5/20、7/27～7/29、 8/29～9/1、11/21～25、11/28～12/26 ・大飯 5/23～5/27、8/29～9/2、11/28～12/16、 12/12～16 三菱重工に対して、特別な監査を開始（12/27）。 	A	プロセス監査実施内容検討		第1四半期プロセス監査		第2四半期プロセス監査		第3四半期プロセス監査		第4四半期プロセス監査		12/27 高製 三菱重工に対 する特別な監査	マネジメントレビュー
22	品質・安全監査室の若狭地域への駐在	<p>品質・安全監査室の若狭地域への駐在</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力事業本部の組織改正に合わせて品質安全監査室（原子力監査グループ）の若狭地域への駐在体制を整備した。 （事業本部：4名、各発電所3名×3発電所=9名） 業務のプロセス監査、モニタリング活動を、より現場に密着した活動として実施中。 是正処置プログラムに対するモニタリングを開始。 	A	体制等検討				若狭地域に常駐 7/25		より現場に密着した活動として実施				是正処置プログラムに対するモニタリング	マネジメントレビュー
23	外部監査の充実	<p>外部監査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 文書審査を、1/17～19で実施済。 実地審査を、2/7～2/20で実施予定。 	A	外部監査実施に向けた細目の検討				社内方針決定 8/12		具体的な監査実施方法を調整		契約締結 11/28		外部監査の実施（文書審査、実地審査） 文書審査 1/17～19 実地審査 2/7～	マネジメントレビュー

再発防止対策の実施状況 (10月～12月実績と1月～3月予定)

平成18年1月24日現在

実施項目	現状	実施状況	再発防止対策の取組み実績									今後の予定					
			～平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
(4) メーカー、協力会社との協業																	
24	メーカー、協力会社との協業体制の構築とPWR電力間の協業体制の構築	S	メーカーおよび協力会社の各社ごとの対話活動の強化 ・基本方針(H16.9.24決裁)に基づき、H16年10月から各発電所において協力会社の方々との対話活動を継続実施中。 ・対話活動で出てきた意見要望の内、原子力事業本部で検討すべき事項の対応方法を決定し、意見・要望の処理を継続実施中。	メーカーおよび協力会社ごとの対話活動の強化									報告 (発電所から事業本部への報告)	報告 (発電所から事業本部への報告)			
		A	当社とメーカーの協業体制の構築 ・PWRプラントの故障・不具合情報を定期的にメーカーと共有する具体的な仕組みを検討し、メーカーとの第1回技術情報連絡会を10月3日、11日に実施し、各種技術情報について協業して検討を行った。各種情報の取りまとめを行い、各発電所・協力会社と情報の共有を図った。 ・また、プラントメーカーと当社で長期的な技術協力の合意書を締結しており、技術連携の具体的対象機器の選定および具体的な工事の中で発注形態の見直しを検討中。(第1回WG 7/12開催、第2回WG 7/29開催、第3回WG 9/9開催)	メーカーとの協業の検討	協業実施に向けたメーカーとの調整			実施手続	第1回技術情報連絡会(三菱重工業、三菱電機) 10/3 10/11	第2回技術情報連絡会(三菱重工業、三菱電機)							
		A	当社と協力会社の協業体制の構築 保守点検の改善情報等を定期的に協力会社と共有する具体的な仕組みを検討し、各協力会社31社との第1回技術情報連絡会を9月27日から10月26日にかけて実施し、各種技術情報について協業して検討した。各種情報の取りまとめを行い、各発電所・協力会社と情報の共有を図った。	協力会社との協業の検討	協業実施に向けた協力会社との調整			実施手続	第1回技術情報連絡会(31社各社別) 9/27 10/26	第2回技術情報連絡会(31社各社別)							
		A	メーカー、協力会社との人材交流(あり方検討) メーカー・協力会社との人材交流の具体化を検討中。	人材交流のあるべき姿の設定	基本方針策定			8/26	人材派遣の詳細プログラム策定(研修枠、メニュー等)					実施方針策定			
		A	PWR電力間などの協業体制の検討 PWR電力間の協業体制確立のための、国内PWR事業者連絡会の結成についてPWR電力会社及びメーカーと合意し、覚書を締結した。PWR事業者連絡会を10月20日、11月18日に開催し、各種情報等について対応策を検討し、情報を共有した。	PWR電力間などの協業体制検討	PWR各電力間等との調整			覚書等事務手続き	覚書締結	第1回JPOG連絡会第2回JPOG連絡会 10/5 10/20 11/18			JPOG連絡会(定例)				
		-	着実な活動の実施とフォロー	メーカー、協力会社とのコミュニケーションの中で協業活動についての継続的改善を実施													
地元の皆さまからの信頼の回復に努めます。 (1) 原子力事業本部の福井移転																	
25	原子力事業本部の福井移転	S	原子力事業本部の福井移転 若狭支社と統合した組織改正を行い、美浜町への移転を実施。 (実施項目8「発電所支援の強化と保守管理要員の増強および実施後の評価」と同様)	移転準備			事業本部の移転・組織改正	7/25	11/24 フォロー			評価・改善					
26	原子力事業本部運営に係る社内諸制度の見直し	S	原子力事業本部運営の社内諸制度の見直し ・原子力事業本部運営の諸制度について問題を抽出し、見直し検討を行なうため、原子力部門と事務部門の役員、支配人クラスをメンバーとしたWGを5月に設置。 ・第1回WGを6月13日、第2回WGを8月29日、第3回WGを11月16日、第4回WGを1月19日に開催し、膝詰め対話(試行)での意見・対応を実施。 ・今後も膝詰め対話等に対する対応を継続。	(No.25のとおり)	WG設置に向けた検討	WG設置	5/30	WGでの検討(膝詰め対話の意見集約・対応)	第1回 6/13	第2回 8/29	第3回 11/16	第4回 1/19	第5回				
(2) コミュニケーションの充実																	
27	地元とのコミュニケーションの充実	S	地元との対話活動の実施 ・「行動計画」公表以降、123回、延べ2,282名の地元の方々に対して、行動計画の趣旨、をご説明しご意見を拝聴している。 ・当社と立地町の皆さまとの対話の場の設定について地元と調整中。 (社長出席:1回/年程度、原子力事業本部および発電所幹部出席:3回/年程度) 8月9日 美浜町原子力懇談会(社長と地元の代表の方々との対話) 1月5日 社長と高浜町、大飯町の方々との対話 ・「コミュニケーションガイドライン(H16.9.24制定)」を改定 H17.9.12改定(対話活動で頂いた意見の社内での活用方法のシステム化を反映) H17.10.4改定(意見への対応要否の判断を誰が行うかを明確にするため処理フローの見直し)	定期的な対話活動の実施(技術系社員も参加)	8/9美浜町原子力懇談会	美浜町各戸訪問の実施 (9/14～9/26)	10/24美浜町区長会での説明	美浜町各戸訪問の実施 (12/5～12/22)	1/5社長と高浜町、大飯町の方々との対話	改定版ガイドラインの運用	9/12ガイドラインの改定	10/4ガイドラインの改定					

再発防止対策の実施状況(10月~12月実績と1月~3月予定)

平成18年1月24日現在

実施項目	現況	実施状況	再発防止対策の取組み実績										今後の予定					
			~平成17年3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
(3) 地域との共生																		
28	福井県エネルギー研究開発拠点化計画への協力	<p>福井県エネルギー研究開発拠点化計画策定への協力</p> <p>福井県エネルギー研究開発拠点化計画の具体化への協力</p> <p>・当社は平成17年3月に策定された福井県の「エネルギー研究開発拠点化計画」の策定作業に参画してきた。</p> <p>・当社は「エネルギー研究開発拠点化推進会議」に参画し本計画の着実かつ円滑な推進に協力する。具体的な協力内容については検討中。</p>	A	第3回エネルギー研究開発拠点化計画策定委員会(計画策定) 3/26			県の拠点化推進組織開設 7/24			県の拠点化推進会議 11/10								
			着実かつ円滑な推進への協力															
安全への取組みを客観的に評価し、広くお知らせします。(1) 再発防止対策を確認し、評価するしくみの構築																		
29	原子力保全改革委員会	<p>「原子力保全改革委員会」の設置</p> <p>・4月11日に設置した。</p> <p>・4月26日に委員会の運営業務を統括するため、「原子力保全改革推進室」および同室内に「原子力保全改革推進グループ」を設置した。</p>	S	委員選定委員 委員会設置 4/11		実施計画審議(原則、毎週) 4/11 4/25 5/6 5/12 5/20 5/27 6/2 6/8 6/16 6/23 7/8 7/14 7/20 7/29 8/4 8/12 8/26 9/2 9/9 9/16 9/22 9/30 10/6 10/14 10/21 11/9 11/18 11/25 12/6 12/27 12/1 12/8/12/16										[1 / 週 ~ 1 / 月の頻度で 必要の都度開催]		
		<p>「原子力保全改革委員会」による活動</p> <p>・これまで35回開催し、再発防止対策の実施状況、実施計画等について審議した。</p> <p>・第1回検証委員会(6/17)において実施計画の策定状況、第1四半期の実施結果、第2四半期の予定、第2回検証委員会(10/7)において第2四半期の実施結果を報告。</p> <p>・今後とも実施計画の取り組み状況のフォロー等、活動を継続する。</p>		実施状況公表 実施計画策定・公表 検証委員会への報告			検証委員会への報告			検証委員会への報告			検証委員会への報告					
	原子力保全改革検証委員会	<p>「原子力保全改革検証委員会」の設置</p> <p>・4月26日に設置した。</p> <p>・4月26日に委員会の運営業務を統括するため、品質・安全監査室に「原子力保全改革検証グループ」を設置。</p>	S	委員選定委員 委員会設置 4/26		再発防止対策の実施状況の検証			新たに2名の委員委嘱			再発防止対策の実施状況の検証			再発防止対策の実施状況の検証			
		<p>「原子力保全改革検証委員会」による活動</p> <p>・第1回検証委員会を6月17日に開催。</p> <p>・第1回検証委員会の提言を受け新たに2名の委員を委嘱(7月)</p> <p>・第2回検証委員会を10月7日に開催。</p> <p>・第3回検証委員会を1月24日に開催</p>		6/17 第1回			10/7 第2回			1/24 第3回								
	再発防止対策の実施状況の周知・広報	<p>地元の方々へのお知らせ</p> <p>・3月25日 行動計画を公表。</p> <p>4月11日 「原子力保全改革委員会」設置を公表。</p> <p>4月26日 「原子力保全改革検証委員会」設置を公表。</p> <p>5月11日 再発防止対策の実施状況を公表。</p> <p>6月1日 再発防止対策の実実施計画・実施状況を公表。</p> <p>6月17日 「第1回原子力保全改革検証委員会」審議結果と再発防止対策の実実施状況を公表。</p> <p>6月29日 「原子力事業本部の組織改正」「原子力保全改革委員会および原子力保全改革検証委員会の委員変更」について公表。</p> <p>7月20日 原子力事業本部組織改正の実施日の決定について公表。</p> <p>7月25日 原子力事業本部の福井移転について報道各社に取材案内。</p> <p>8月4日 美浜原子力PRセンターの常設展示主要部完成。</p> <p>8月5日 「安全の誓い」の石碑建立について公表、および報道各社に取材案内。</p> <p>8月9日 「安全の誓い」の日の取り組み(美浜P/S)について報道各社に取材案内。</p> <p>「安全の誓い」の日にあたり、福井県内で新聞広告を出稿。</p> <p>10月1日 ~ 再発防止対策実施状況のTVCM放映開始</p> <p>10月2日 再発防止対策実施状況の新聞広告掲載</p> <p>10月7日 「第2回原子力保全改革検証委員会」審議結果と再発防止対策の実実施状況を公表。</p> <p>1月24日 「第3回原子力保全改革検証委員会」審議結果と再発防止対策の実実施状況を公表。</p> <p>・美浜町各地区および県内各種団体等への説明会、福井県下のCATV・新聞折込・当社定期刊行物、ホームページ等で、適宜情報提供。</p> <p>・今後とも適宜、情報提供していく。</p>	S	行動計画公表 3/25			原子力保全改革委員会設置を公表 4/11			原子力保全改革検証委員会設置を公表 4/26			原子力事業本部の組織改正決定を公表 5/29			(再発防止対策について適宜公表) (検証委員会の開催ごとに、審議結果、実施計画の進捗状況を公表)		
<p>再発防止対策の実実施状況の公表</p> <p>美浜町各地区への説明会 (4/16~5/2)</p> <p>定期刊行物(4/30嶺南) 定期刊行物(6/26嶺南)</p> <p>定期刊行物(8/28嶺南) 8/9新聞広告(15段/福井県)</p> <p>定期刊行物(11/6嶺南) 10/2新聞広告(15段/福井県) 10/30新聞広告(15段/福井県) 11/26新聞広告(15段/福井県)</p> <p>1/20 電気新聞 夕刊版 電気新聞 夕刊版 電気新聞 夕刊版</p> <p>1/24 新聞折込(福井県) 新聞折込(福井県) 新聞折込(福井県)</p> <p>美浜原子力PRセンター常設展示内容検討中(仮設展示実施中) 美浜原子力PRセンター常設展示(主要部)完成</p> <p>8/4 CATV放映(福井県)(7/1~7/24)</p> <p>9/16展示完成</p> <p>10/24 美浜町各戸訪問(9/14~26) 定期刊行物(12/29嶺南)</p> <p>10/7 第2回検証委員会の審議結果公表 10/7 第2回再発防止対策の実実施状況公表</p> <p>10/24 美浜町各戸訪問(12/4~22) 定期刊行物(12/29嶺南)</p> <p>11/20 新聞折込(福井県) 11/22 新聞折込(福井県)</p> <p>12/29嶺南) 新聞折込(福井県)</p> <p>1/14,15新聞広告(7段/福井県)</p> <p>1/24 新聞折込(福井県)</p> <p>1/20 電気新聞 夕刊版 電気新聞 夕刊版 電気新聞 夕刊版</p> <p>1/24 新聞折込(福井県) 新聞折込(福井県) 新聞折込(福井県)</p> <p>CATV放映(福井県)(4/16~5/29) CATV放映(福井県)(7/1~7/24)</p> <p>CATV放映(福井県)(10/29~11/27) CATV放映(福井県)(12/1~12/25)</p> <p>TVC M放映(福井県)(10/1~)</p>				6/17 第1回			8/5 '安全の誓い'の石碑建立を公表			10/7 第2回検証委員会の審議結果公表 再発防止対策の実実施状況公表			1/24 第3回検証委員会の審議結果公表 再発防止対策の実実施状況公表					